

明石市公設地方卸売市場あり方検討委員会〔第1回分科会〕 検討シートまとめ

区分	明石市場が担うべき役割	「公設市場」としての役割	明石市場の取扱量・取扱高の維持・向上を図るために必要な機能	開設者	理由（開設者）	運営者	理由（運営者）
水産 (卸)	①明石市民の食を支えるという本来の機能を維持する。 ②近郊、漁師のための市場 ③給食事業の推進	生鮮食料品流通拠点として明石市民中心に安心安全で新鮮良質な食材を安定して供給する。	①配送、加工や保管の機能を持つこと ②明石市の賑わい創出のため、一般客への販売や飲食機能の充実 ③新鮮、良質な地元産品の充実（安定した入荷（集荷）） ④さらに、活性化の為、新しい取組を追加導入していくこと	明石市	明石市民のため	明石市 (指定管理者)	公募の中から選定されることから、信頼できる。
水産 (卸)	①明石市民の食（海産物・農産物）の安定供給を維持する。 ②地域の学校給食への供給や、海外販路など多様なニーズに対応する。 ③明石の豊かな海産・農産資源を活かし、住民福祉の向上を目指す。	①多くの市場従業員が働く、地域経済の拠点 ②消費と生産、需要と供給を効率的に結び付け、食生活を支える。 ③安定的に食料品を供給することにより、明石市市民に寄与	①全国各地から幅広く、また地元産品を強化・集荷し、価格形成をする。加えて、産地情報を発信し仲卸に的確に伝達する。 ②近年の配送流通・物流の変化に対応し、改善 ③消費者との接点を増やし、市場の認知度向上のため、市場開放・市場まつりなどイベントの強化 ④卸売業者・仲卸業者・関連業者との連携強化により市場活性化を図っていく。 ⑤①～④維持向上を図る上で、耐震性・衛生面での課題がある市場の老朽化施設・再整備・建て替え・移転が急務と考える。	明石市	多くの市場従業員が働き、地域経済に大きな影響を与え、地元産品の流通拠点として重要な役割をしている。 また、学校給食の地域供給にも貢献し公共性が高いため、明石市が開設者であることは地域経済・行政の安定と発展に繋がると考える。	明石市 (指定管理者)	柔軟な運営と民間のノウハウの導入による効率化を図れるから
青果 (仲卸)	生産地と消費者を結びつけ、地域の産業振興を図る。	学校給食への食材提供は基より、地域の消費者ニーズをまかなう食材の安定供給と品種、価格の安定を進める。	市場としての競争力を高めることにつきる。 具体的には、質、量ともに豊かで OneStop で全てがまかなえること。 今後ニーズが更に高まる冷蔵、冷凍保管技術の向上と量的なメリットを作る。 HubMarket として機能に加え、加工機能や物流機能も強化する。 魚、青果に止まらず食肉、花き等の機能を付ける。	明石市	民間事業者の監視、抑止力を持つ為に「公」とし、より大きく広げるために「県」も参加させる。	民間	より大きく、早く、効率良く事業を進める為には民間の競争力を使うべき
青果 (仲卸)	全世代の市民に対し、外食、内食、個食、アレルギー食など食の多様性が益々広がる昨今、生鮮食品（ミネラル）の重要性をアピールする食育の推進をする。	地産地消を促進、地域農業、漁業の安定的な販売先となることで、地域社会に貢献する。 生鮮食品の価格の安定、食料自給率向上に貢献する。	市場の再整備 近郊生産者の特産品のブランド化 量販店向けコールドチェーンの整備・HACCP 認定	明石市		明石市 (指定管理者)	
青果 (仲卸)	災害時の拠点 地産地消の促進	安定供給	コールドチェーンの確保	明石市	民間委託よりも安定したスムーズな運営ができると思う。	未回答	
青果 (仲卸)	市内外への食の安定供給及び安全な生鮮品の供給を主と考える。	市民、施設給食等に対し、安定供給を目指すため、「公設」という名前での集荷力の向上をはかれると思うため、公設市場というものは、必要であると考え。	公設を継続し、市と市場が連携をとって、「ブランド化」「市の経済成長」に結びつけるため、他府県へ「明石」を売り込む。 衛生面の向上、コールドチェーンが必要ではないか。	明石市	市と市場、市民とで経済成長、市としての成長をすることに寄与することではないか。 市による「公設」が市場としての強み 市民の信頼を得るために市の協力は必要	未回答	家賃等については条例で守り、場内事業者の負担減しかし、民間の勢いも必要
青果 (仲卸)	食の安定供給	公正な取引としての安全安心	鮮度管理できる施設	明石市	公正な立場	明石市 (指定管理者)	現状に不満がないため
青果 (仲卸)	安心安全の食材を提供する。	左記と同じ。		明石市		明石市 (直営)	

区分	明石市場が担うべき役割	「公設市場」としての役割	明石市場の取扱量・取扱高の維持・向上を図るために必要な機能	開設者	理由（開設者）	運営者	理由（運営者）
水産 （仲卸）	生産者（漁師さん）が水揚げした魚の出荷場所であり、生産者の生活の継続とその家族の生活を守る場でもある。 明石市公設地方卸売市場まで各漁協から車で 30 分以内に來ることができて利便性が高く、産地市場&消費地市場であることから、食の流通の拠点となっている。 利便性を利用してその日のうちに消費者の手元に届けることが出来、付加価値を高めることにもつながっている。 明石産のブランド力を維持し、発信する場にもなっている。 明石市公設地方卸売市場に関わる従業員（常時雇用 642 人臨時雇用含めると 664 人）の雇用の継続と、その家族の生活を守る場でもある。雇用を生み、明石の経済にもプラスになる。 市場外流通の割合が上がってはいるが、本来の食の安定供給という面で重要性が高まっている。 小売業・飲食業・スーパーマーケットに対しても安定供給という面で貢献している。 食や雇用も含め、明石の経済、産業にとっても大きな役割を担っている。	食の流通の拠点 日常はもちろんのこと、非常時にも食を供給する必要性を考えると、公設である意味が大きい。 一般消費者である市民にも、明石の魚の魅力を伝えていく役割も担っている。 明石市の市場として、市と連携し、荷受・仲卸・管理センターが協力して活性化を図ることが必要不可欠 市民に新鮮な商品（食）を提供する役割を担うことが第一 市民への安心安全な食品を提供することも欠かせない。 次世代を担う小中学生の見学受け入れ、イベントなどにより、食育推進の面でも果たす役割は大きい。 最も強調したいのは、明石市民の為の市場であること。 公設であることで、より市民のためという点が協調される。	駅から徒歩圏内で、主要道路も含めた交通の利便性（地の利）を活用し、スムーズな食の流通の拠点となる。 卸売市場であるということは、日頃は業者向けの場となるが、駐車場があることも生かして一般消費者への市場開放を定期的に行うことで、市民が卸売市場の存在を知り関心を持ち、必要性を感じてもらえるよう努める。 生産者（漁師さん）との連携強化、明石ブランドのさらなる向上と発信。 地産地消の取り組みとして給食食材の提供、地元の飲食店との企画などの仕掛け 福祉事業（こども食堂などに食材提供）にも力を入れる。 海外販路・国内販路の強化。明石市場の魚を選んでもらう工夫と、魅力のPR 業者間による勉強会・意見交換会。全国の市場の状況、明石の町や行政の情報などを知り、分析し、市場の活性化につなげられるように積極的に取り組む。 コールドチェーン化、食の安心・安全をさらに取り組む。 市場のあり方を出来るだけ早く結論づけ、出来るだけ早く、よりよい方向へ進めるようにする。 これから仲卸業者が減少するだろうと予測する中、今現在のような広さが必要かどうかは議論する必要性はあるが、一方で面積を狭くしてしまってからまた広くするのは難しく、今の広さで付加価値をつけることも検討する必要がある。 ハザードマップを照らし合わせると安全な土地であるので防災備蓄倉庫の設置など、災害に備えた防災拠点機能を確保する。また、有事の際に市場の中の人たちが市民をサポートできるように、日頃から訓練し、意識づけておく必要もある。 防災拠点として防災備蓄倉庫を整備するとともに、市場イベントと防災イベントを同時に開催して市場の認知度向上を図る。いざというときには、市場に避難していればいいという、安心できる場にもなるようにしっかり準備、周知する。 市民が市場に集いやすい場となることを検討する。買い物、集会ができるスペースなど。さらに観光という視点も加えられるかどうか検討し、道の駅や温泉施設などの機能を併設することで、にぎわい形成につなげる可能性もある。 市場内業者同士の連携を深める。 さらに、卸売市場が明石の食の流通拠点である意識を高め、漁業や農業、魚や青果に関する団体・企業との連携はもちろんのこと、様々な企業・団体・店舗との懸け橋として機能していくよう積極的に仕掛けていく。 市民、まち、産業のためになることを、今一度、市場関係者全員が胸に刻みたい。	明石市	明石公設地方卸売市場の看板があるからこそ、信頼性・信用度がある。市民の食事を守るため、明石の存在は不可欠	明石市 (指定管理者)	明石市と連携して動きやすい。 民間委託で振り回されないため すでに実施している給食事業、海外・国内販路拡大、福祉事業、市場開放やさかな文化祭といったイベント開催などのように、指定管理者と市場内業者が連携しながら取り組めるのが良いと考える。
水産 （仲卸）	明石市の台所 隣接地域、市内への食材の供給 地域の農業、漁業、小売業、飲食業への貢献	食材の安心、安全の提供	川下にも川上にも魅力あふれる市場になること。 値段、物量、品質管理など 公的施設への応援 災害時の支援	明石市	公設市場であるという社会的標記	明石市 (指定管理者)	市役所と市場内の運営会社の橋渡しをしてもらいたいから

区分	明石市場が担うべき役割	「公設市場」としての役割	明石市場の取扱量・取扱高の維持・向上を図るために必要な機能	開設者	理由（開設者）	運営者	理由（運営者）
水産 （仲卸）	安心安全で新鮮な商品を生供給し、価格の安定を担う。 病院や学校給食等の食材提供で、地産地消の促進	防災備蓄倉庫の設置等、災害に備えた防災拠点機能の確保	明石市場から仕入れをする加工業者を誘致する。	明石市	公共施設として災害に備える。	明石市 （指定管理者）	市民向けの直売や定期的なイベント開催等で、場内事業者とのスピーディーな連携がとれる。
水産 （仲卸）	全国又は海外からの食材を集め、小分けして小売店、外食店、給食などに届け市民の食を支える。	左記と同じような内容 明石市内外の消費者にスムーズに食材を流通させる。 地産地消も大事である。 市内の学校給食や施設などへ食材提供	あらゆるメーカーや産地の食材を集め、新鮮な食品と適正な価格での取扱いをし、安定した流通を充実させる。 コールドチェーンなどで安全な食材の取扱いをする。 運送会社、コンビニなどの誘致 市場開放や市場まつりなどイベントで市場の認知度を向上させる。	明石市	明石市という看板が最もおもく感じる。 明石市公認の店舗ということで動きやすい。	明石市 （指定管理者）	明石市直営でしてほしいが、現状指定管理なので。指定管理のほうで民間のノウハウをとり取り入れられそうなので。
水産 （仲卸）	明石市民の食の安心、安全の安定供給 生産者（漁師）の為の市場 市民の為の学校給食	生産者と消費者との結びの場 食の安定供給 生鮮の流通拠点	消費者と卸売業者の接点を増やす為に、市場開放、市場祭り等のイベントの充実 一般消費者に貢献することにより、市場の認知度を上げて、売上の向上 物流機能に対応する設備を整備する。	明石市	多くの明石市民が市場で働き、明石の経済に対しても大きな役割をもっている。また、学校給食の観点から明石市との繋がりが深いため	明石市 （指定管理者）	明石市と民間（市民）の両方の考え方による効率化
水産 （仲卸）	明石ダイやタコなどを出荷する拠点	学校給食などへの提供をするため	A→B、B⇔Bなど一丸となる。	明石市	公設がつくから	明石市 （指定管理者）	市と連携しやすいから
水産 （仲卸）	市場のあり方（いる、いらん）を考えるのは市の仕事で我々ではない。	過去の経緯、昭和 50 年代に市に連れてこられた、市の施策！！		明石市	市の名前があれば営業していく上で信用されやすい。	明石市 （指定管理者）	
関連事業	立場の異なる複数の事業者が、食品等の取引及び荷さばきに必要な施設を設けて、取引の適正化と生産及び流通の円滑化を図る。	経済、社会、環境の三側面のまちづくりをし、相乗効果を生みだす。	社会環境の変化に合わせた設備等（人口、生産、物流の動向、食品流通、消費者ニーズ）	未回答		未回答	
関連事業	明石市として責任を持って、市政で運営することが第一だ。	公設なので民間はありえない。 市政がするので、市、県、国が動く。	市場内でどれだけ動こうとて、売上、取扱量は増えない。卸先の開拓が全て。それがあれば必然的に全てあがる。需要がありはじめて供給がくる。	明石市	民間の富の温床にしても発展はない。	明石市 （直営）	
関連事業	生産者や漁師などの拠点	学校や保育園などへの提供	海外販路や地域イベントなどやっていく。	明石市	公設がつくから	明石市 （指定管理者）	市と連携しやすいから
関連事業	安全安心な食品の提供 提供食品の品質向上 災害に備えた防災拠点としての役割 食文化の発信	地域への食の安定供給 学校給食などへの食材提供	安心安全で品質、鮮度のよい商品の提供 コールドチェーンの導入 （品質保持、廃棄ロスの削減）	明石市	指定管理者制度を活用しつつ行政が関わることがよいと思う。	明石市 （指定管理者）	運営実績とノウハウがあるため（現状）
関連事業	明石市内へ流通する食品の安心安全の質を高める。 明石市の食材のブランディング	よりよい食材の提供 市民のための市場 食育の推進 防災拠点機能 イベント利用	取扱い商品の品質向上、特化を図る。 販売チャンネルを増やす。 SNS を使った情報発信 市場 HP での通販サイト開設 直売所の設置等	明石市	市内の学校給食、こども食堂等、公的なところと取引したり、明石市のブランディングを行うとなれば市にお願いしたい。	明石市 （指定管理者）	市場の新しい取り組みを考えると、自由な発想が出やすい。